

ウェルズ ファーゴ(WFC)

【セクター】 金融

【市場】 NYSE

【企業概要】

サンフランシスコに本社を置き米国西部を主な地盤とする大手銀行です。1988年にノースウェスト銀行、2008年にワコビア銀行と合併して全米屈指の規模に成長しました。資産規模は全米3位、住宅ローンや中小企業向け融資は全米1位、自動車ローンや学生ローンで全米2位です。1.3万のATMを設置、全米の3分の1の世帯と取引があるとされます。パークシャー・ハサウェイが9.9%を保有する大株主です。

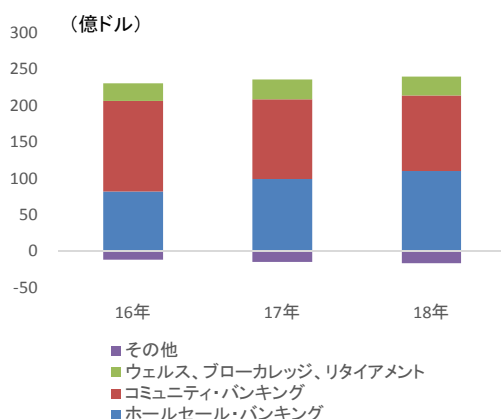
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	営業収入	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	88,389	18,682	3.73	1.54	37.1	10.5	10.7
18年12月期	86,408	19,665	4.07	1.64	37.8	11.1	10.4
19年12月期予想	83,766	20,856	4.65	1.86	39.8	11.8	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

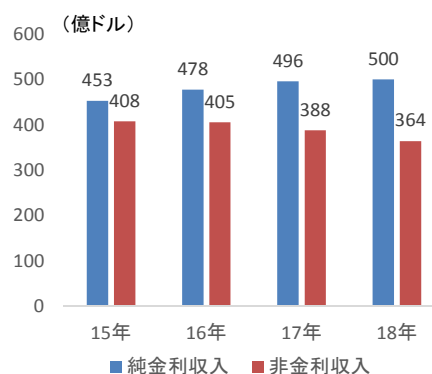
【主要指標】

図表1 部門別純利益



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 純金利収入と非金利収入



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

幅広い金融業務を展開していたワコビア銀行以外は、地方銀行が合併して形成されたため、地域経済に根ざした安定した収益基盤をもつ銀行と評価されています。住宅ローンのシェアが米国最大であることから、住宅市場の動向によって業績が動く銘柄として注目されることも多くなっています。一方、16年に不正口座開設の問題が発覚、その後も様々な不祥事が明らかになったことで、同社の「クロスセル」や厳しいソルマ営業による経営に批判が高まり、営業慣行の是正に努めています。このため、ここ数年は同業他社に比べて営業収益の伸びが低くなるケースが多くなっています。

【見通し・注目点】

18年2月にFRB（連邦準備制度理事会）から総資産額を17年末の2兆ドル弱に凍結するという厳しい行政処分を受けていますが、これがいつ解除になるかが注目されています。市場の観測では、19年末から20年前半ではないかと見られています。1-3月期は、純金利収入が利ざやの改善で増加したものの、非金利収入は減少して全体として減収、一方、非金利費用の削減によって増益を確保しました。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/7/3)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。